

共進会(第4区成雌牛群)で県下一!

総合でも3位 飯舘牛にまたうれしいニュース

第28回福島県肉用牛共進会は、7月30日に本宮町の家畜市場において行われ、村から出品した成雌牛3頭が、見事、農林水産省東北農政局長賞

(総合第3位)並びに福島県知事賞(第4区成雌牛群第1位)を受賞しました。審査員からは、体高、体積等どれをとっても、他の出品牛群より優

れているとの評価をいただきました。

審査を受けている間、生産者は緊張の面持ちで手綱を持ち上げていましたが、受賞が決まった瞬間、喜びが笑顔となつて表れ、場内からは歓声と拍手が沸きおこりました。昨年9月には、全国共進会で振興公社の牛を含む牛群が、県では初となる優等賞に輝いており、嬉しい話題の続く飯舘牛に今後ますますの発展が期待されます。



▲受賞のようす

◆東北農政局長賞・福島県知事賞 (順不同)

・ひらまさ
生産者：赤石沢一彦さん (大久保・外内)

・ふじの5
生産者：金沢 秋夫さん (前田・八和木)

・なつこ
生産者：細川恵美子さん(上飯樋)

◆第2区(若雌の2)入賞

・かつみね
生産者：花井 順さん(伊丹沢)

病害防除を徹底

異常気象の対策話し合う

低温や日照不足により農作物の生育遅れが心配されることから、8月1日、各生産部会の代表者をはじめ、村や農協の関係者らが出席して異常気象緊急連絡会議が役場で開かれ、今後の気象や農作物の現状を確認し対策を話し合いました。

会議では、相双農林事務所の担当者から仙台管区気象台発表の8月25日までの気象予報の説明の後、JAそうまの担当者



▲会議のようす

から7月末までの農作物の販売状況などが説明されました。

続いて、各生産部会の代表から作物の生育の現状が報告され、作物毎に今後の対応策が協議されました。

今後の対応としては、病害防除の徹底や、低温管理についての周知徹底を図ること等が話し合われました。

太田副大臣も視察

今年は低温による影響が全国的に心配されることから、国でも低温・日照不足対策本部を設置。太田豊秋農林水産副大臣が本部長に就任しています。7月30日には太田本部長自ら村の稲の状況を視察に来ました。



▲深谷の水田を視察する太田本部長